

研究機関：広島大学

研究課題名	cT1bNOMO 食道扁平上皮癌に対する根治的放射線化学療法後の非根治リスクの解明
研究責任者名	広島大学病院内視鏡診療科 教授 田中 信治
研究期間	2022 年 8 月 3 日(倫理委員会承認後) ～2024 年 12 月 31 日
対象者	2007 年 1 月 1 日から 2017 年 12 月 31 日までに、広島大学病院放射線治療科で食道扁平上皮癌に対して放射線化学療法を受けられた患者さん
意義・目的	cT1bNOMO(内視鏡検査で粘膜下層浸潤癌と診断した)食道扁平上皮癌(ESCC)に対する根治的化学放射線療法(DCRT)は手術と同等の根治的治療ですが、DCRT 後に局所遺残や転移再発を認める症例もあります。また JCOG0508 は cT1bNOMO の ESCC に対して内視鏡治療後に追加 CRT を行っても DCRT 単独と比較して、安全性と有効性に差がないことを報告しています。また内視鏡治療後の追加 CRT の転移再発リスク因子として脈管侵襲陽性が報告されています。今回、DCRT を施行した cT1bNOMO ESCC の内視鏡所見を検討することで、cT1bNOMO の ESCC に対する DCRT 後の非根治(局所遺残や再発)のリスク因子を明らかにするため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は性別、年齢、内視鏡所見と臨床経過です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学病院内視鏡診療科 教授 田中 信治
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5538 広島大学病院内視鏡診療科 教授 田中 信治(研究責任者) 消化器内視鏡医学講座 准教授 卜部 祐司(担当者)